



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

「闇を乗り越えた後に見える笑顔には力がある」と、名古屋出身のアーティスト、水谷孝次さんは言う。

阪神大震災後の神戸、9・11テロ後のニューヨーク、アフリカの飢餓と極貧のスラム街…。世界二十六カ国で三万人以上の笑顔を撮影してきた水谷さんの心に焼き付いたのは、そんな「負の遺産」を引きず

闇と笑顔

る子どもたちだ。

自身も大須での子ども時代を忘れない。敗戦から立ち直り、町全体にエネルギーが満ち、暮らしては良くなるといふ希望にあふれていた。その陰で、消えない闇のようなものがあった。

だ。大人になったら、きっと変えてやる」。三歳でそう誓った。

震災後、神戸市長田区の工事現場の壁に張った笑顔のポスターを見て、朝鮮半島出身の冷めん屋のおばちゃん「救われる」とつぶやいた。宇宙に輝く銀河を誕生させた暗黒物質(ダークマター)のように、復興

への触媒になればと、水谷さんはカメラを手に各地を巡る。

父は戦争で片方の聴力を失った。怒りっぽく、母とけんかが絶えなかった。「戦争のせいで、世の中が悪い

巡る。」

ペーナ
ナイ

(早川昌幸)